

## 見ぬま田んぼ

### 野草スケッチ「ヒナタイノコヅチ」 日向猪子槌

分類：ヒユ科イノコヅチ属

花言葉：「命燃え尽きるまで」、「二重人格」「人懐こい」



花を拡大

2011.8.23 見沼代用水西縁 小松原高校グランド脇にて  
夏から晩秋に掛けて路傍や田畑の脇道に勢いよく群生をなしています。憎たらしい野草の姿です。



### 「ヒナタイノコヅチ」 日向猪子槌

世界：	
生育地：	日当たりのよい道端や原野に生える雑草である。
茎 丈：	根は地中深くに伸び、50 - 100センチ、角張った方形、節が高く節で対生に枝を出す
葉	対生、楕円形、葉先は尖、表面にまばらに毛
花期：	8 - 9月
花・花色：	枝先に目立たない緑色の小花、花びらはなく、5本の雄しべ
種子：果実	果実は3個の針状の苞、苞の先端が鋭く尖っており、人の衣服や獣の体に付着
特徴：	ヒカゲイノコヅチがあり、ヒナタイノコヅチと混生していることも多く区別が難し
由来	イノコヅチ（ヒカゲイノコヅチ）よりも日当たりのよい場所に生えることに由来する。茎の節にある太い膨らみの形が、イノシシの子どもの大きな膝頭と、物を打ちたたく道具である槌に例えられたところから。実は、衣服によくつく

※写真：ウィキペディア解説：「イノコヅチ」の花言葉とは？色や由来など花言葉を徹底解説サイトお借りしました。